

令和7年度 授業改善推進プラン 国語科 (大森第三中学校)

〈昨年度の授業改善推進プランの検証〉

★取り組みにおける成果と課題

- ・学習課題の文章を落ち着いて丁寧に読み、内容を正確に捉え、その内容に対して自分の考えをもつことを常に目指している。その基盤として、各授業での集中する雰囲気づくりを大切に進める。意欲的に取り組む生徒も増えている。また、そのうえで、「文章を書く力」「発表する力」を伸ばすために、表現する機会を増やすことを目指す。今後も生徒それぞれに、語彙を増やし適切に使えるようにして、表現に生かせるよう、指導を継続する。
- ・話の意図を理解しようとする、「聞く意識」を身につける。意識づけのうに普段の授業からメモを取る習慣づけをした結果として、メモを取りながら要旨をしっかりと聞き取る力が伸びている。
- ・機会を増やして、漢字や語句、文法など、国語の基礎・基本的な力を定着できるよう努める。そのために、漢字ワークやプリント、小テスト、語句を用いた短作文などに取り組みせ、反復練習を継続する。苦手意識をもつ生徒を少しずつ減らす。
- ・生徒の意欲を引き出すための指導、工夫を続ける。

〈国語科の内容別結果の分析〉(区・学習効果測定)

内容	1年生	2年生	3年生
言語の特徴や使い方に	○【漢字を読む】「災難(さいなん)」「治める(おさめる)」の設問では目標値を上回った。「忠誠(ちゅうせい)」の設問では目標値をわずかに下回った。 ○【漢字を書く】「単純」「縮める」の設問で目標値をわずかに下回った。「捨てる」の設問は目標値をわずかに上回った。 ○【文法・語句に関する事項】「敬語」「熟語の成り立ち」「連用修飾語」の全ての設問で目標値を下回った。	○【漢字を読む】概ね目標値を上回ったが「へいまく」に関しては目標値を大きく下回った。 ○【漢字の書き】すべての設問において目標値を下回った。特に「裏」に関しては大きく下回った。 ○【文法・語句】すべての設問において目標値を上回った。	○【漢字を読む】すべての問題において、目標値と全国正答率を上回った。 ○【漢字を書く】1つの設問(救護)において正答率が目標値と全国正答率を少し下回ったが、2つの設問(許す、勢い)はともに上回った。 ○【文法・語句に関する事項】は、「用言の活用」「類義語」に関する設問ともに目標値を下回った。
に情報に関する扱方	○【情報と情報との関係を問う問題】では、全ての設問で目標値を上回った。	○【情報と情報との関係を問う問題】では目標値、全国正答率ともに上回った。	○【情報と情報との関係のさまざまな表し方に関する問題】で、目標値を大きく上回った。
文化が事に国語の関する語	○【熟語の成り立ち】の設問では、目標値を大幅に下回った。	○【歴史的仮名遣い】目標値をわずかに上回った。	○【現代語訳を手掛かりに古典を読む問題】では、目標値をわずかに上回った。
話すこと・聞くこと	○【インタビューの内容を聞き取る】2つの設問において、目標値を上回る正答率であった。「意図に応じて、話の内容を捉え、適切な質問をしている」項目では、目標値を大幅に下回る結果になった。	○【話し合いの内容を聞き取る】「必要に応じて記録しながら話の内容を捉えている」設問は目標値を大きく上回ったが、「自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えている」設問では目標値をわずかに上回るに留まった。	○【発表練習の内容を聞き取る問題】で、「論理の展開に注意して話し手の考えを聞くこと」や「資料や機器を用いて、自分の考えをわかりやすく伝えるための表現」の問いについては、目標値を大きく上回った。しかし、「自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫する」問いについては、目標値をわずかに下回る結果であった。
書くこと	○【文章を書く】「目的や意図に応じて伝えたいことを読み取る」項目と「文章全体の構成や展開を考える」項目は、目標値をわずかに上回った。一方で、条件に設定された目的や意図に応じて文章を書く設問では、目標値を大幅に下回った。	○【文章を書く】「体験したことを文章を書く」ほぼ全ての設問において目標値、全国正答率ともに上回った。「読み手の立場に立って文章を整えている」ことを測る設問では目標値を大幅に上回るものの、全国正答率とは同値であった。	○【文章を書く問題】では、「文章の下書きの中の補足の役割」や「目的に応じて伝えたいことを明確にすること」についての問いは、目標値を大きく上回ったが、特に、「文章の下書きに当てはまる言葉を記述する」問いや、自分の考えを明確にして伝える問いについては、目標値を大きく下回る結果になった。
読むこと	○【説明的な文章を読み取る】全ての設問において、選択問題では目標値を上回った。 ○【文学的な文章を読み取る】2つの設問において目標値を上回る正答率であった。文章を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げる設問では目標値をわずかに下回った。	○【説明文の内容を読み取る】「文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている」項目ではわずかに目標値を上回った。一方で「文章の内容について叙述を基に捉えている」「目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している」の2つの項目では目標値を下回った。特に後者は顕著である。 ○【文学作品の内容を読み取る】3項目すべてで目標値を上回ったが、「表現の効果について根拠を明確にして考えている」項目は目標値をわずかに上回るに留まった。	○【説明的な文章を読み取る問題】で、文章全体と部分の関係に注意して内容を捉える問いでは目標値を上回ったが、特に、文章の構成や論理の展開について考える問いでは、目標値を下回る結果であった。 ○【文学的な文章を読み取る問題】で、全体的に目標値をやや下回る結果となった。

〈国語の観点別結果の分析〉(区・学習効果測定)

観点	1年生	2年生	3年生
知識・技能	○【言語に関する知識】の設問で、文法の知識に課題がある。文法や言葉の知識を少しずつ積み重ね、定着を図る。 ○【漢字を読む・書く】概ね目標値であるが、わずかに下回っている設問も多くある。書くことを中心に漢字学習に意欲的に取り組み、さらに定着させていく。 ○内容に関して興味をもち、理解しようとする姿勢はある。読書習慣がある生徒が多いものの、読書が苦手な生徒もいる。学校図書館を有効活用したり授業中に関連図書を紹介することで興味をもたせ、本に親しむ機会を増やす。 ○自分の考えを正確に表現するために、読書を通して多くの言葉に触れ、語彙力を高める。	○漢字の読み書きについて、目標値を下回るものが多く、第1学年までの復習が不完全であることがわかった。漢字テストや授業での復習を通して、基礎基本の知識として定着させる。 ○読書習慣は浸透しているが、読書すること自体が苦手な生徒も多数存在する。図書室などを有効活用し、本に親しむ機会を増やす。定期的に基礎基本の定着に向けて復習を行う。	○【言語に関する知識】文法の復習が必要である。 ○【伝統的な言語文化】に関しては目標値を上回る結果だった。古典に親しむ態度をさらに育てる。 ○【漢字を読む・書く】漢字テストなどを通して幾度も書き慣れることで漢字学習に取り組み、定着させる。 ○読書習慣は浸透しているが、読書が苦手な生徒もいる。「情報の扱い方や読み取り方」を伸ばすためにも、学校図書館を有効活用し、興味をもたせ、本に親しむ機会を増やす。 ○自分の考えを正確に表現するために、語彙力を高める努力をする。
思考・判断・表現	○【話す・聞く】多くの生徒が集中して話し手の意図や内容を理解することができている。しかし、それらを理解した上で適切な質問をするという点が課題である。他者の考えを受け止めた上で、適切な言葉や言い回しを選び対話することを意識させる必要がある。 ○【文章を書く】条件に設定された目的や意図に応じて文章を書く設問で目標値を大幅に下回っている。文章を書くことそのものに対する苦手意識をもつ生徒に文章を書く意欲をもたせる。また、自分の考えと理由を書くことに課題がある。 ○【読む】目標値を上回る設問が多いが、文章を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げる経験を重ねていく必要がある。	○【話す・聞く】に関して、集中して話し手の意図するところや内容を理解し、一生懸命話そうとする生徒が多い。一方で、自分の考えや根拠を明確にしつつ話の構成を考えて交流する意識をより高めていく必要がある。 ○【文章を書く】文章の構成や段落についての理解は高まっている。読み手の立場に立ち文章を整える意識をより高めていく必要がある。 ○【読む】説明文では、文章の内容について叙述を基に捉え、丁寧に読み進めることが課題である。また、目的に応じて必要な情報を取捨選択した上で内容を解釈する必要がある。文学作品では、表現の効果についての意識をより高めていく必要がある。	○【話す・聞く】に関して、目標値は上回っているものの、「話の構成の工夫」に関しては課題が残る。スピーチ、発表等で、周囲に分かりやすい話ができるよう、取り組む機会を増やすことを目指す。 ○【文章を書く】に関して、目標値には届かないものの、より良い文章に仕上げようと努力を重ねる生徒も多い。課題について考えを深め、構成を工夫して書く力を伸ばすことを目指す。自分の考えをわかりやすく伝えることを意識させる。 ○【読む】に関して目標値を下回るが、内容を正確に捉え、その内容に対して自分の考えをもつことを目指す。

〈国語科の課題と具体的な授業改善策〉

	課 題	具体的な授業改善策
1年	○文章の目的や意図を理解した上で自分の考え・思いをもち、言語化する。 ○相手の意図を理解した上で、適切な言葉を用いて対話する。 ○文法の知識の定着を図り、使える語彙力の向上を目指す。 ○小学校習得漢字の復習を行い、中学校習得漢字を定着させる。	○自分の考えを正確に表現するために、語彙力を高める場面を増やす。 ○漢字や文法などのテストを定期的に行い、反復練習により定着を図る。 ○文章を書いたり発表したりする際に、目的や意図を意識する。 ○粘り強く課題に向かう姿勢を意識させる。
2年	○漢字や文法、語句に関する知識の定着を図り、知識の習得とともに語彙力の向上をねらう。 ○文章の叙述をもとに内容を捉えるために、文章を落ち着いて丁寧に読み進める。 ○自分の考えや根拠を明確にしつつ話の構成を整理して交流する。	○文章を書いたり発表をしたりする際に、文章の構成が適当か意識させる。 ○本文の叙述を基にした基礎的な読解に取り組みさせる。 ○問題集等を活用して読解問題に取り組ませる。 ○漢字テストなどの小テストを定期的に行い、反復練習により定着を図る。
3年	○文章を落ち着いて丁寧に読み、内容を正確に捉え、その内容に対して自分の考えをもつ。 ○話の意図を理解しようとする、「聞く意識」を身につける。 ○筋道を考え、相手に分かりやすく「話す」、「書く」力をつける。 ○漢字、文法の知識の定着を図り、使える語彙力の向上を目指す。	○自分の考えを正確に表現するために、語彙力を高める場面を作る、増やす。 ○文法の復習を定期的に行い、反復練習により定着を図る。 ○文章を書く、発表する機会を増やす。 ○粘り強く課題に向かう姿勢を意識させる。